

世界小型株厳選ファンド

追加型投信／内外／株式

日経新聞掲載名：世界小型厳選

2019年7月26日から2020年1月27日まで

第 2 期 決算日：2020年1月27日



受益者の皆さまへ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、世界小型株厳選マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の小型株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行いました。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

 **三井住友DSアセットマネジメント**
〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1
<https://www.smd-am.co.jp>

第2期末(2020年1月27日)

基準価額	11,537円
純資産総額	1,965百万円
第2期	
騰落率	+7.0%
分配金	150円

*騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 当運用報告書についてのお問い合わせ

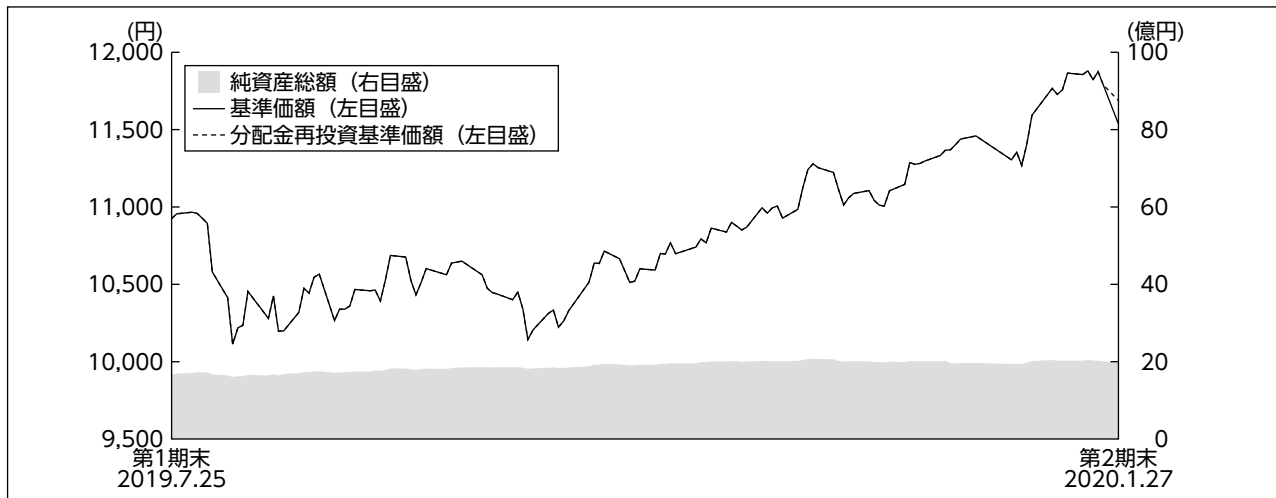
フリーダイヤル 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

1 運用経過

基準価額等の推移



*当ファンドにはベンチマークはありません。

*分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を基準に算出しております。

*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

*分配金を再投資するかどうかについてはお客様ご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

第2期首：10,925円

第2期末：11,537円（既払分配金 150円）

騰落率：+7.0%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

当ファンドは、世界小型株厳選マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の小型株式に投資を行いました。

(上昇要因)

糖尿病用インシュリン投薬用器具メーカーのInsulet Corporationが最も大きくプラスに寄与しました。新製品が販売好調なことや、米国外における売り上げの増大、米国内での店頭販売への拡大などから好調な決算を発表したことが好感されました。英国のメディア企業Future PLCも大きくプラスに寄与しました。ワンクリックでeコマース（電子商取引）サイトにつながる専門メディアのグローバル・プラットフォームを提供しており、デジタル化により普及書の再編や活性化を図る戦略をとっています。クラウドベースの給与・就労管理ソフト・プロバイダーのPaylocity Holding Corporationも、予想を上回る好調な決算発表が好感され、大きくプラスに寄与しました。

(下落要因)

米国の害虫駆除サービス会社ServiceMaster Global Holdings, Inc.は、害虫駆除薬の効果が不良であることを理由とした損害賠償請求の発生による軟調な決算が嫌気され、マイナスに作用しました。また、ABIOMED, Inc.は、逆効果を示唆する調査結果を受け有効性が疑問視されたカテーテル式血液ポンプ、インペラの米国内売り上げの低調から株価が下落しました。HMS Holdings Corporationは業績が予想を下回ったことが嫌気され要因となりました。ただし、これは主として同社の診療報酬請求審査事業のタイミングの問題によるものです。

1万口当りの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2019年7月26日~2020年1月27日		
	金額	比率	
信託報酬	106円	0.977%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,880円です。
(投信会社)	(59)	(0.544)	ファンドの運用等の対価
(販売会社)	(45)	(0.417)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(2)	(0.017)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料 (株式)	4 (4)	0.038 (0.038)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税 (株式)	2 (2)	0.021 (0.021)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用 (保管費用)	14 (13)	0.133 (0.123)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.007)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.003)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	127	1.169	

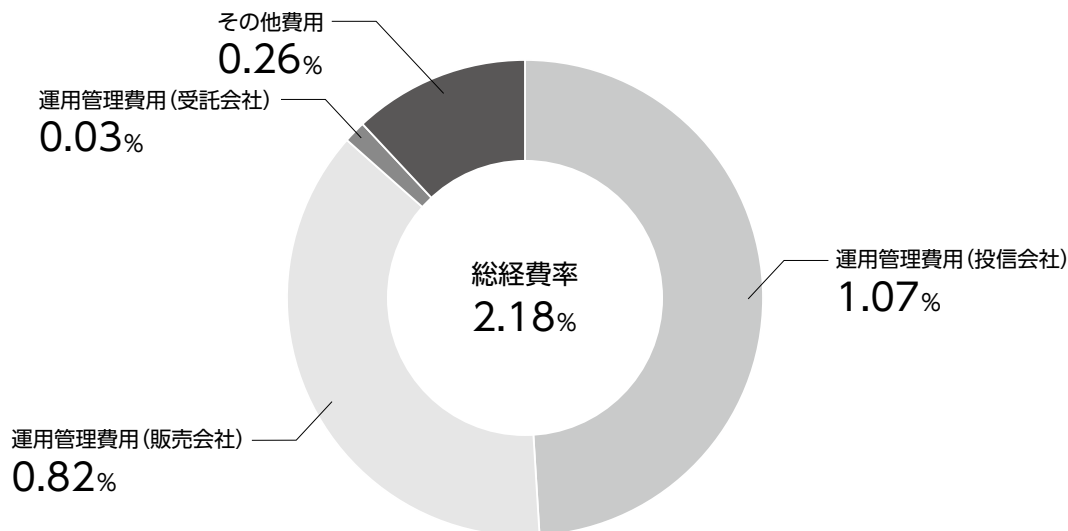
* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

*各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

参考情報 総経費率（年率換算）



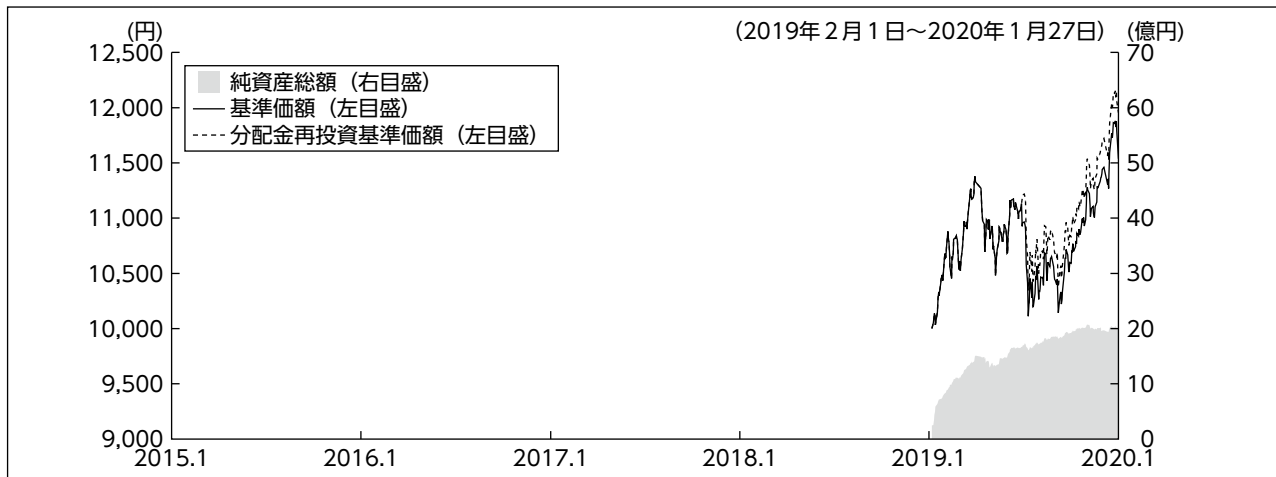
*各費用は、前掲「1万口当りの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

*各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。

*上記の前提条件で算出しているため、「1万口当りの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率換算）は2.18%です。

最近5年間の基準価額等の推移



* 当ファンドの設定日（2019年2月1日）より表示しております。

* 設定日の基準価額は設定価額を、純資産総額は当初設定元本を表示しております。

* 当ファンドにはベンチマークはありません。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

		2019年2月1日 設定日	2020年1月27日 決算日
基準価額	(円)	10,000	11,537
期間分配金合計（税込み）	(円)	—	400
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	19.5
MSCI AC ワールド・スモールキャップ・インデックス（配当込み、円換算）騰落率	(%)	—	14.1
純資産総額	(百万円)	250	1,965

* MSCI AC ワールド・スモールキャップ・インデックス（配当込み、円換算）は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

● 参考指数に関して

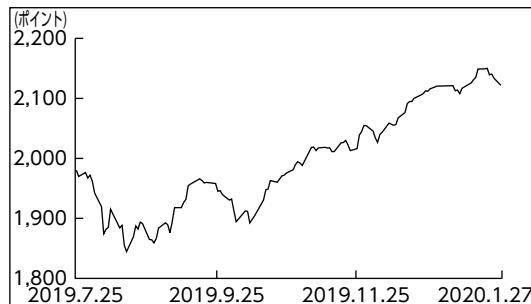
* MSCI AC ワールド・スモールキャップ・インデックス（配当込み、円換算）とは、MSCI AC ワールド・スモールキャップ・インデックス（配当込み、米ドルベース）を委託者が円換算したものです。

* 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

投資環境

当期のグローバル株式市場は大幅に上昇しました。当初、米中貿易摩擦の深刻化を背景とした世界的なリセッション（景気後退）懸念が投資マインドを押し下げ株式市場は軟調に推移したものの、その後はFRB（米連邦準備制度理事会）による3度の利下げ実施など各国中央銀行の金融緩和策や、経済成長を下支えするための新たな景気刺激策の示唆が投資マインドの押し上げ要因となりました。また、米中貿易交渉が2020年1月に第1段階の合意に至ったことを好感し、欧州と米国では株式市場が過去最高値を更新する展開となりました。ただし、期末に向けては中国における新型コロナウイルスの発生・感染拡大が、投資マインドの重石となりました。

MSCI AC ワールド・スモールキャップ・インデックス (配当込み) の推移



ポートフォリオ

■世界小型株厳選ファンド

主要投資対象である世界小型株厳選マザーファンドを期を通じて高位に組み入れ、期末の実質的な株式組入比率は99.2%としました。

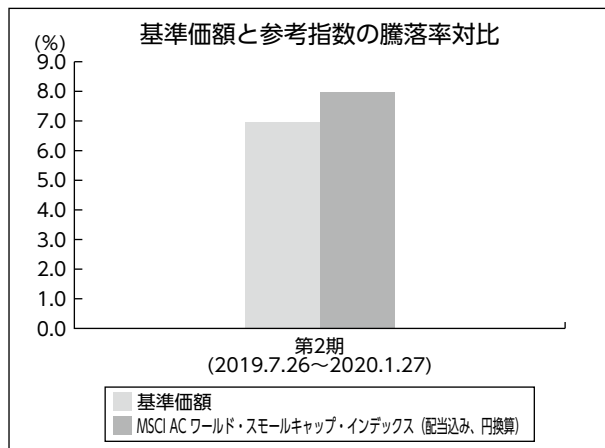
■世界小型株厳選マザーファンド

当期の騰落率は、+7.9%となりました。

Generac Holdings, Inc.を新規に組み入れました。米国の住宅向けバックアップ用ジェネレーターのメーカーで、市場シェアは75%に上ります。深刻な電力不足を背景に製品需要が高まっているほか、最近では買収により潜在的な市場シェアを拡大しています。また、West Pharmaceutical Services, Inc.を新規に組み入れました。注射薬の保存容器のデザイン、製造、および配送を行う米国企業で、パッケージング事業においては欧米で高いシェアを誇っています。予測可能性の高い安定した経常収入を確保しており、利益率の向上を予想しています。一方、米国の特化型保険会社のKemper Corporationを全株売却しました。同社は新規参入による市場の価格圧力の高まりを指摘しており、ファンドの投資テーマに逆行する状況となったと判断しました。また、Alarm.com Holdings, Inc.も全株売却しました。事業拡大計画を背景に業績予想が下方修正されており、競争激化の影響によるものとの懸念しました。

ベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



* 基準価額の騰落率は、分配金込みで計算しております。

分配金

分配金は、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、1万口当り150円（税込み）とさせていただきます。なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

■分配原資の内訳

(1万口当り・税引前)

項目	第2期	
	2019年7月26日 ~2020年1月27日	
当期分配金	(円)	150
(対基準価額比率)	(%)	1.28
当期の収益	(円)	150
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,536

※円未満を切り捨てしているため、「当期分配金」は「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計額と一致しない場合があります。

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

■世界小型株厳選ファンド

引き続き、運用の基本方針に従い、マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の小型株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。

■世界小型株厳選マザーファンド

2019年の株式市場は堅調に推移しましたが、市場環境は引き続き企業のさらなる再評価の追い風となるものと当ファンドでは見えています。経済指標がその裏づけとなっているほか、中国では、関税の引き下げのほかにもさまざまな取り組みや金融緩和が経済成長を後押しする見通しです。鉱工業生産の底打ちと同時に、企業業績の上方修正も世界各地で増加しています。経済成長の回復に伴い、過小評価されてきたシクリカル（景気循環）銘柄の堅調は今後も続くものと予想しています。

3 お知らせ

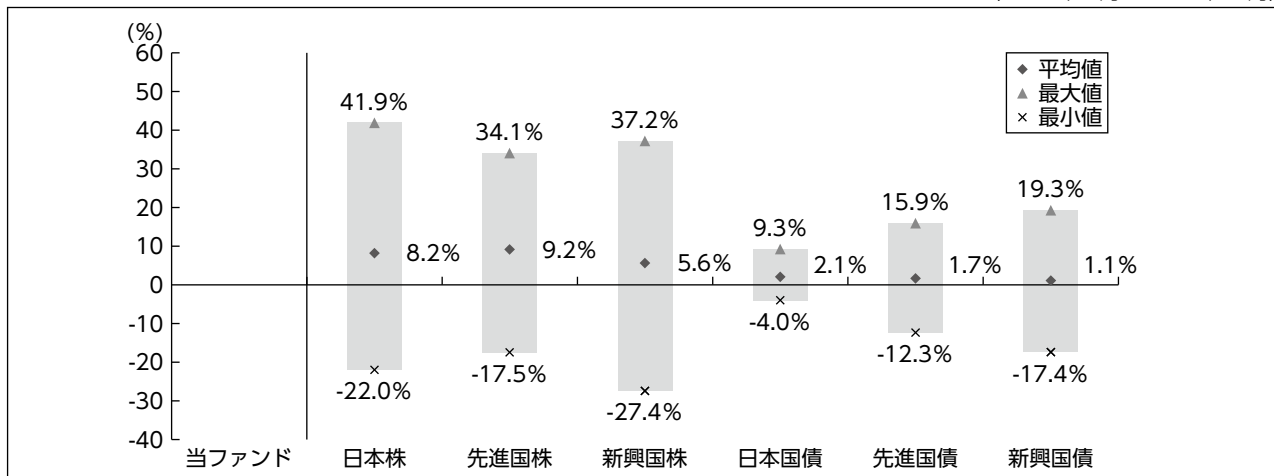
該当事項はございません。

4 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2019年2月1日～2029年1月25日（約10年）	
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の小型株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	世界小型株厳選マザーファンド受益証券
	世界小型株厳選マザーファンド	世界の金融商品取引所に上場する株式のうち、小型株
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・運用はファミリーファンド方式で行います。 ・ボトムアップアプローチによるファンダメンタルズ分析により、投資魅力のある銘柄に厳選投資します。 ・実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 	
分配方針	<p>毎年1月、7月の25日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含まれます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。</p> <p>* 分配金自動再投資型の場合、分配金は税金を差し引いた後自動的に無手数料で再投資されます。</p>	

5 当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2015年1月～2019年12月)



●上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

*当ファンドは設定から1年が経過していないため、年間騰落率を表示できません。

*全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

*騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

<各資産クラスの指数について>

資産クラス	指数名	権利者
日本株	TOPIX (配当込み)	株式会社東京証券取引所
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)	MSCI Inc.
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)	MSCI Inc.
日本国債	NOMURA-BPI国債	野村證券株式会社
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)	FTSE Fixed Income LLC
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)	J.P.Morgan Securities LLC

(注) 上記指数に関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利は、各権利者に帰属します。各権利者は、当ファンドの運用に関して一切の責任を負いません。

6 当該投資信託のデータ

当該投資信託の組入資産の内容

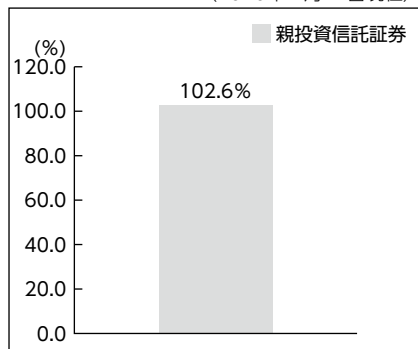
【組入ファンド】

	第2期末 (2020年1月27日)
	組入比率
世界小型株厳選マザーファンド	102.6%

* 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

【資産別配分】

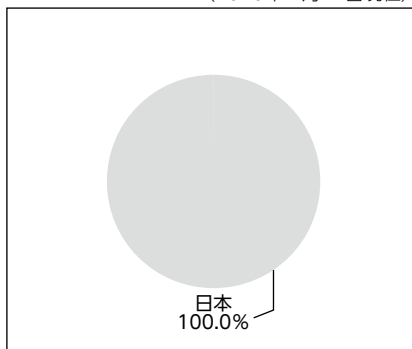
(2020年1月27日現在)



* 純資産総額に対する評価額の割合

【国別配分】

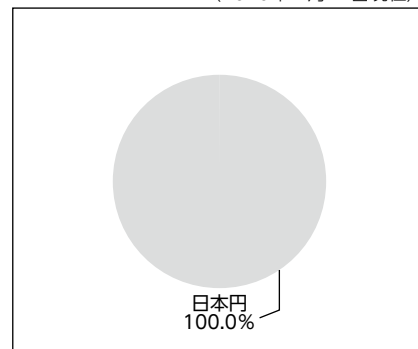
(2020年1月27日現在)



* ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

【通貨別配分】

(2020年1月27日現在)



* ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

純資産等

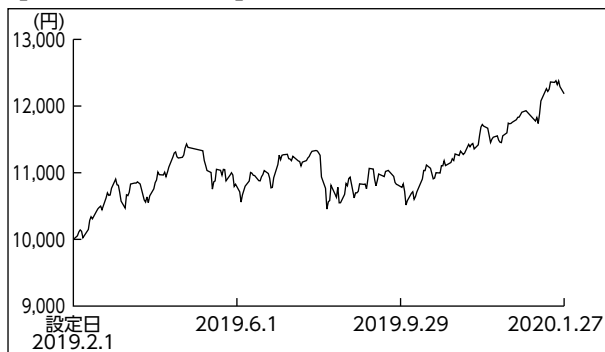
項目	当期末
	2020年1月27日
純資産総額	1,965,283,528円
受益権総口数	1,703,499,288口
1万口当り基準価額	11,537円

* 当期中における追加設定元本額は421,838,398円、同解約元本額は244,594,903円です。

組入ファンドの概要

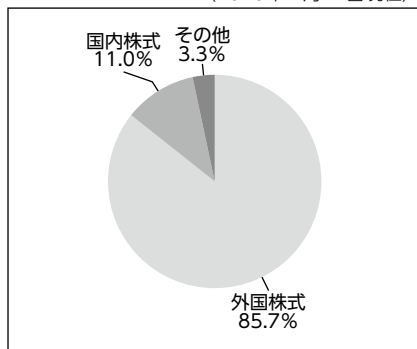
■世界小型株厳選マザーファンド

【基準価額の推移】



【資産別配分】

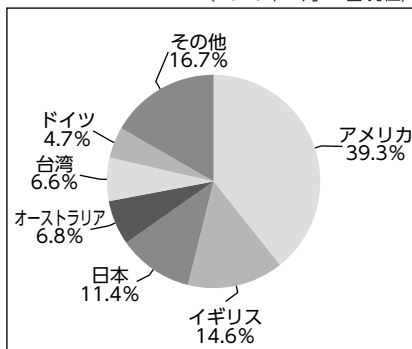
(2020年1月27日現在)



* 純資産総額に対する評価額の割合

【国別配分】

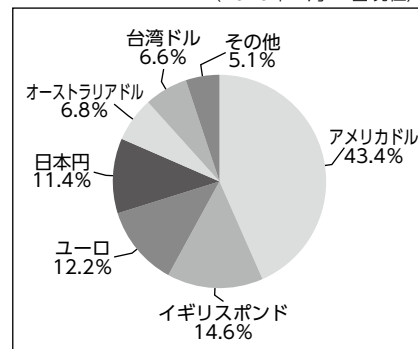
(2020年1月27日現在)



* ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

【通貨別配分】

(2020年1月27日現在)



* ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

【組入上位銘柄】

(2020年1月27日現在)

銘柄名	国名	業種名	比率
1 日本M&Aセンター	日本	商業・専門サービス	3.5%
2 ASPEN TECHNOLOGY INC	アメリカ	ソフトウェア・サービス	3.4%
3 PAYLOCITY HOLDING CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	3.4%
4 POOL CORP	アメリカ	小売	3.4%
5 AXON ENTERPRISE INC	アメリカ	資本財	3.1%
6 INSULET CORP	アメリカ	ヘルスケア機器・サービス	2.8%
7 CHEGG INC	アメリカ	消費者サービス	2.8%
8 INTERMEDIATE CAPITAL GROUP	イギリス	各種金融	2.7%
9 GENERAC HOLDINGS INC	アメリカ	資本財	2.6%
10 WEST PHARMACEUTICAL SERVICES	アメリカ	ヘルスケア機器・サービス	2.6%

* 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(組入銘柄数 51銘柄)

※ 全銘柄に関する詳細な情報および直近の計算期間の運用経過等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

※ 基準価額の推移、1万口当りの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

※ 資産別配分、国別配分、通貨別配分、組入上位銘柄は組入ファンドの直近の計算期間末日のものです。

【1万口当りの費用明細】

(2019年2月1日～2020年1月27日)

項目	金額
売買委託手数料 (株式)	11円 (11)
有価証券取引税 (株式)	11 (11)
その他費用 (保管費用) (その他)	49 (45) (4)
合計	71

* 費用項目については、3ページの項目の概要をご参照ください。
 * 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
 * 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。